

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東
コード番号 6870 URL <https://www.fenwal.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 誉将
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 昭 TEL 03-3237-3561
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	9,305	4.8	944	△2.6	945	△7.2	1,013	19.0
2024年12月期第3四半期	8,882	△2.2	969	37.4	1,018	27.1	851	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 951百万円 (△3.1%) 2024年12月期第3四半期 982百万円 (186.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	180.73	—
2024年12月期第3四半期	151.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	19,625	14,117	71.9	2,517.69
2024年12月期	19,521	13,585	69.6	2,422.68

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 14,117百万円 2024年12月期 13,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	37.00	—	37.00	74.00
2025年12月期	—	37.00	—		
2025年12月期（予想）				37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,900	3.1	900	△23.9	860	△36.7	930	△16.7
								165.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	5,893,000株	2024年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	285,522株	2024年12月期	285,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	5,607,478株	2024年12月期 3 Q	5,607,478株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、米国の関税政策による影響が自動車産業を中心にみられたほか、物価上昇等による景気の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、SSP部門におけるハロン消火設備等の大型案件が減少したものの、消防ポンプ部門における消防ポンプ、消防車の受注及び販売が順調に推移したことを主要因に、受注高・売上高ともに前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、受注高は10,338百万円(前年同期比10.7%増)、売上高は9,305百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

利益面におきましては、消防ポンプ部門における売上高の増加に伴う売上総利益の増加はあったものの、SSP部門における高付加価値製品の販売減少等により、営業利益は944百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益は営業利益の減少及び円高に伴う為替差損の計上により、945百万円(前年同期比7.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外子会社の清算結了に伴い「関係会社清算益」322百万円を計上したこと等により、1,013百万円(前年同期比19.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門におきましては、防爆型煙感知器の大型案件の他、発電所向け防災設備や物流センター向け消火設備等の需要も増加したことにより受注高は増加したものの、ハロン消火設備等の大型案件の減少により売上高は減少いたしました。

以上の結果、受注高は3,984百万円(前年同期比14.9%増)、売上高は3,470百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、プラント向け安全対策案件や大型再開発案件の新規引合いが増加しており、受注の拡大が期待されます。また、売上につきましても、機器販売や改修工事案件が引き続き堅調に推移していることから、更なる売上増を目指してまいります。

開発の状況につきましては、中期経営計画の柱としている新製品3アイテム(爆発抑制装置・ガス消火設備・熱感知器)のうち、爆発抑制装置が8月より販売開始となりました。引き続きこれら新製品の開発に注力するとともに、その他の自動火災報知設備の受信機及び感知器、産業用異常検知システム機器など、既存製品の改良開発にも取り組んでまいります。

サーマル部門

当該部門におきましては、主力製品である半導体製造装置向け熱板及びセンサーにおいて、半導体市場の動向の影響を受けつつも需要回復の兆しも見られ、結果として、受注高、売上高ともに増加いたしました。

以上の結果、受注高は1,559百万円(前年同期比7.8%増)、売上高は1,545百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、生成AI搭載のPCやスマートフォンなどの普及が加速すると予想されており、半導体製造装置分野で需要拡大が見込まれていることから、高機能半導体製品の市場要求に応えるべく、技術営業の推進により市場要求に対する付加価値の高い活動に注力してまいります。

開発の状況につきましては、市場ニーズに合わせた機能や性能の実現を目指した熱板の開発とともに、温度調節器、サーモスイッチの既存製品の維持・改良開発にも取り組んでまいります。

メディカル部門

当該部門におきましては、2026年12月を以て受託生産終了を予定している主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置の最終オーダーへの対応を進めている中、受注高は減少したものの、売上高については僅かに増加いたしました。

以上の結果、受注高は947百万円(前年同期比11.6%減)、売上高は1,021百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

なお、当該部門における人工腎臓透析装置以外の製品につきましては、引き続き製造及び販売を継続してまいります。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

当該部門におきましては、事務機器向け製品及び産業機器向け製品等の既存取引に限定される中、受注高は減少したものの、売上高は僅かに増加いたしました。

以上の結果、受注高は709百万円(前年同期比4.5%減)、売上高は743百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、価格競争が厳しい中、徹底した原価低減活動への取り組みに注力してまいります。

消防ポンプ部門

当該部門におきましては、国や地方自治体向けの消防ポンプ及び消防車の販売が安定的に推移しており、その結果、受注高及び売上高が堅調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は3,136百万円(前年同期比20.1%増)、売上高は2,525百万円(前年同期比27.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、消防ポンプの入れ替え需要の確実な取り込みを進めるほか、消防車の仕様標準化等による収益性改善に取り組んでまいります。消防ポンプ市場の拡大が見込めない中、非常用浄水器や山林火災向けポンプ等の新規導入を通じた災害対策製品のラインナップ拡充を図り、事業領域の拡大に向けた営業推進に努めてまいります。

開発の状況につきましては、主力製品である水冷式消防ポンプのモデルチェンジと小型非常用浄水装置の新規開発に注力してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、19,625百万円となり、前連結会計年度末19,521百万円に比べ103百万円(0.5%)増加しております。主な増加要因は「投資有価証券」413百万円(14.3%)、「製品」366百万円(43.8%)によるものであり、主な減少要因は「受取手形及び売掛金」623百万円(34.2%)であります。

負債合計は、5,507百万円となり、前連結会計年度末5,936百万円に比べ429百万円(7.2%)減少しております。主な減少要因は「支払手形及び買掛金」359百万円(20.0%)、「工事未払金」231百万円(54.2%)であります。

純資産合計は、14,117百万円となり、前連結会計年度末13,585百万円に比べ532百万円(3.9%)増加しております。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」276百万円(21.2%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年7月31日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,289,149	6,471,791
受取手形及び売掛金	1,821,929	1,198,916
電子記録債権	1,433,443	1,130,068
完成工事未収入金及び契約資産	1,088,646	735,229
製品	835,204	1,201,342
仕掛品	425,819	370,530
原材料	1,858,417	2,032,169
その他	93,606	73,457
貸倒引当金	△3,899	△3,899
流動資産合計	13,842,316	13,209,606
固定資産		
有形固定資産	1,666,560	1,973,163
無形固定資産		
のれん	694,942	608,074
その他	115,514	105,426
無形固定資産合計	810,457	713,501
投資その他の資産		
投資有価証券	2,883,727	3,296,831
退職給付に係る資産	127,549	195,060
その他	211,890	257,679
貸倒引当金	△20,650	△20,650
投資その他の資産合計	3,202,518	3,728,921
固定資産合計	5,679,536	6,415,585
資産合計	19,521,852	19,625,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,796,717	1,436,728
工事未払金	426,962	195,648
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	295,920	258,784
未払法人税等	332,042	149,687
賞与引当金	—	98,560
役員賞与引当金	—	12,630
製品保証引当金	372,917	420,871
その他	849,800	739,252
流動負債合計	4,674,360	4,012,160
固定負債		
長期借入金	344,380	448,860
役員株式給付引当金	10,985	14,488
退職給付に係る負債	225,609	232,773
資産除去債務	58,494	58,547
製品改修関連損失引当金	451,262	413,488
その他	171,662	326,997
固定負債合計	1,262,394	1,495,156
負債合計	5,936,754	5,507,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	9,828,567	10,423,103
自己株式	△413,653	△413,653
株主資本合計	11,872,031	12,466,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,304,888	1,581,200
為替換算調整勘定	323,148	—
退職給付に係る調整累計額	85,029	70,106
その他の包括利益累計額合計	1,713,066	1,651,307
純資産合計	13,585,098	14,117,875
負債純資産合計	19,521,852	19,625,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,882,202	9,305,707
売上原価	5,825,445	6,153,129
売上総利益	3,056,756	3,152,577
販売費及び一般管理費	2,087,120	2,208,006
営業利益	969,635	944,571
営業外収益		
受取利息	812	3,944
受取配当金	34,495	46,499
為替差益	14,107	—
受取保険金	—	3,000
その他	9,482	6,191
営業外収益合計	58,898	59,636
営業外費用		
支払利息	8,496	12,351
為替差損	—	45,889
その他	1,545	803
営業外費用合計	10,042	59,044
経常利益	1,018,491	945,162
特別利益		
投資有価証券売却益	—	57,508
製品改修関連損失引当金戻入額	56,214	17,730
関係会社清算益	—	322,819
特別利益合計	56,214	398,058
特別損失		
事務所移転費用	14,069	—
特別損失合計	14,069	—
税金等調整前四半期純利益	1,060,636	1,343,220
法人税、住民税及び事業税	293,025	338,638
法人税等調整額	△84,147	△8,880
法人税等合計	208,877	329,757
四半期純利益	851,758	1,013,462
親会社株主に帰属する四半期純利益	851,758	1,013,462

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	851,758	1,013,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280,673	276,312
為替換算調整勘定	△142,141	△323,148
退職給付に係る調整額	△7,997	△14,922
その他の包括利益合計	130,534	△61,758
四半期包括利益	982,293	951,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	982,293	951,704

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	202,472千円	233,569千円
のれんの償却額	86,867千円	86,867千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	559,002	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	5,629,313	—	5,629,313
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,252,889	—	—	—	—	3,252,889	—	3,252,889
顧客との契約から生じる収益	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
セグメント利益又は損失(△)	1,073,999	267,099	40,611	89,770	△21,416	1,450,064	△480,428	969,635

(注) 1 セグメント利益の調整額△480,428千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	585,676	1,545,059	1,021,025	743,499	2,525,352	6,420,613	—	6,420,613
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,885,094	—	—	—	—	2,885,094	—	2,885,094
顧客との契約から生じる収益	3,470,770	1,545,059	1,021,025	743,499	2,525,352	9,305,707	—	9,305,707
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,470,770	1,545,059	1,021,025	743,499	2,525,352	9,305,707	—	9,305,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,470,770	1,545,059	1,021,025	743,499	2,525,352	9,305,707	—	9,305,707
セグメント利益	724,610	324,939	56,709	93,874	206,725	1,406,858	△462,287	944,571

(注) 1 セグメント利益の調整額△462,287千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。